



学校だより

10月号

2014年9月29日
横浜市立中村小学校

学校教育目標 **ともに生きる社会をつくる子どもを育てます**

- 相手の話を聞き、粘り強くやりとげられるようにします。(知)
- 互いを認め合い、高め合えるようにします。(徳)
- 自他の生命を大切に、健やかな心と体を育みます。(体)
- よいこと悪いことを判断し、進んで行動できるようにします。(公)
- 様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げられるようにします。(開)

出会いを大切にすることも

校長 中川 和幸

「見なきゃ損！損！さあ、ページをめくろう！」表紙の文を見て、思わず「甲斐の国ガイドブック」を開いてみました。

ほうとう作りやナイトハイク、座禅体験、キャンプファイヤー、ぶどう狩りなど、9月10日から12日の「甲斐の国体験学習」の楽しかった思い出がしっかりとまとめられていました。そのガイドブックに書かれている内容の中で私が驚いたのは、大和自然学校でお世話いただいたマッチさんや、座禅体験でご指導いただいた栖雲寺の青柳和尚さん、ブドウ園の阪本さんを取り上げている子どもたちが多かったことです。



6年生がまとめた
甲斐の国体験学習ガイドブック

マッチさんには、挨拶の大切さや仲間の大切さを繰り返し話していただきましたし、青柳和尚さんからは欲張らないことを説教していただきました。そして阪本さんからはブドウ作りの苦労や楽しさを熱く話していただきました。子どもたちにこの方々の魅力を感じ取る感性が育ってきていることを、うれしく思いました。ふれあう時間は短くても、一生懸命に働いている(生きている)人のすばらしさは、子どもたちにも伝わるものだということが改めて感じました。

学校外へ出る学習では、その場所に行かなければ見ることができない自然や物にふれることが大切ですが、そこで関わる人に出会い、その思いを感じることも大切です。

これから、個別級は区合同宿泊学習で野島の研修センターへ、4、5年生は体験学習で足柄ふれあいの村に、1、2年生は合同遠足で野毛山動物園など、出かける行事がいっぱいです。

また、今年の全校遠足(29日)は、縦割り集団での活動時間を多くするために行き先を根岸森林公園へと変えました。6年生には下見にも参加してもらい、計画作りに関わってもらいます。最高学年としての役割をしっかりと果たして、下級生からあこがれの存在になってくれることを期待しています。子どもたちがお宅近くを通るときには温かく見守っていただきますようお願いいたします。